

牧羊ひろば



郡山キリスト共同教会 教会学校

●はじめに

「わたし自身、あなたがたのために立てている計画をよく知っている―主のことば―。それはわざわざいではなく平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。」
(エレミヤ29・11)

郡山キリスト共同教会は、今年創立78周年を迎えます。

設立当初より、クリスチャンホームの形成が祈られ、子どもたちの救いを祈りつつ働きがなされてきた歴史があります。現在のCS教師の多くはその中で育てられた方々です。

同時に、教会の周りや信徒宅の近所の方々にも福音宣教がなされてきました。教会学校の働きは宣教の最前線として、いまでも祈りと働きが継続されています。コロナの影響により、この3年間は様々な試行錯誤の連続でした。それでも子どもたちへの救霊の祈

りと働きは、変わらず続けられてきました。郡山の教会学校の働きの様子を、コロナ前・コロナ禍中・これから・という視点でご紹介いたします。

●コロナ前

教会学校には、幼稚科から中高科まで10〜20名の子どもたちと9名ほどの先生方が出席し毎週礼拝をささげていました。4月の進級式に始まり、キャンプやサマースクール、クリスマス、餅つきなど毎月のように楽しい行



教会駐車場でサマーキャンプ・プール遊び 2017年

事もおこなわれ、子どもたちの要望で、アイススケートに出かけたこともあったようです。年度末には、教会のお昼の愛餐会時に、進級卒業のお祝いをして、子どもたちの抱負を聞いたりして、ひとりひとりの祝福を教会みんなで祈りました。対外的にも、小学校などにチラシを配って、子どもお楽しみ会などを開催し、子どもたちとおうちの方々にも喜ばれていました。これらの活動時には、教会学校の教師だけではなく、婦人会、壮年会、青年会の方々が手伝ってくださいました。また、シオンの丘で持たれる教区のバイブルキャンプに参加し、信仰の決心にみちびかれる魂もありました。

毎週の教会学校に加えて「パンとスूपの会」「パンだクラブ」「ほっとステーション」の集まりが始まり、卓球や囲碁など教会に遊びに来る小中高生たちもあり、それぞれに担当してくださる兄弟姉が与えられていました。「パンとスूपの会」は、三歳前後のお子さんとお母さんのために、教会で楽しく過ごしながらゆったりくつろげるひと時を過ごしてもらいたいとの願いから二〇一六年に始まった働きです。毎月第4金曜日の10時半からお昼ごろまで、手遊びや絵本の読み聞かせなどもさんびかを

歌い、ショートメッセージとおいしい軽食をいただいて心も身体も癒されるひと時として開かれていました。

参加者の名簿には、7組24名の母子のお名前がありました。二

〇一九年には学齢が上がり小学校に入るご家庭のために、毎月第2土曜日の10時から12時「パンだクラブ」がはじまりました。ホットケーキや白玉団子など、子どもたちと一緒に料理をしておたのしみが増えていきました。





パンとスूपの会 1

●コロナ禍中

二〇二〇年4月、国内のコロナ感染者数が大幅な増加となり、教会の集会は礼拝の配信のみとなりました。一方の配信を受けるのみなで、互いの交わりは持つことができず、教会学校も開けませんでした。まだ配信、受信とも慣れておらず、困惑と格闘の日々であったことを思い出します。そんな中でも、教会学校の生徒はクリスチャンホームの子どもたちでしたので、家族と家庭で礼拝できたことは幸いでした。次々に来るコロナの波の中、6月より配信と共に対面での礼拝が再開され、大人も子どもともに集まって礼拝をささげる恵みを感謝したことです。9月にはCS教師会が持てるようになり、10月より月1回第二主日の10時から10時15分に全クラス合同で教会学校が再開されました。たった15分ともいえるかもしれませんが、とてもうれしく感動したことが忘れられません。それから回数は月2回から3回、時間も9時45分からとなりました。3回のうち1回は、お楽しみ会として数独や卓球、プレゼント付きクイズ、お誕生会などを行っています。お誕生会は、教会学校が開けない時も、短く集まって、こどもさんびか80番「うまれる

まえから」を歌いプレゼントとお祈りのひと時を持っていました。教会学校の先生方も、以前のように毎週教会学校が開かれるようにと祈りながら、手紙やメールを書いたり、訪問をしたり、礼拝で会うと積極的に声掛けをして最近の様子を聞いたり子どもたちの魂に心を配り続けています。「パンとスूपの会」と「パンダクラブ」は休会が続いていますが、小学校に入学する子どもたちにお祝いの品を、子ども祝福式の時にはお菓子を届けていました。そうこうしているうちに、教会学校に集まる子どもたちは、クリスチャンホームの子どものみとなり、

日 時	7月26日(土)	日 時	7月27日(日)
		6:30	おはよう(起床・洗面)
9:00	登 校	7:00	おいのりタイム
9:30	ようこそ タイム	7:45	朝 食
9:45	みことば タイム (10:20)	8:30	さちんヒ タイム
10:30	ぶんぎゅうタイム (11:15)	9:15	みことばタイム (9:40)
11:30	登 校	9:45	ぶんぎゅうタイム (10:10)
12:30	出 発	10:15	またね タイム
1:00	ふれあいタイム		～ふれあいタイム～
3:00			行 先…ムシテック ワールド
3:30	おぶろ タイム		
4:45	さんびタイム		
5:30	夕 食		
7:00	みことばタイム (7:30)		
7:35	ぶんぎゅうタイム (8:10)		
8:15	花 火タイム (8:45)		
9:30	おやすみ タイム		

2014年たのしいサマーキャンププログラム

成長は早く、多くの子どもたちが進学・就職などで、郡山を離れることもありました。祝福と祈り心でおくりだしますが、OB、OGとして帰省の折には顔を見せて一緒に教会学校に出席してくれるのはうれしいです。卒業後も郡山で就職し、教会学校に続いて出席し助けてくれる人もあり感謝です。

●変わらないこと、これからのこと

コロナ禍であらうとなかろうと、変わらないことがありました。CS教師の兄姉の熱い思いと教会の祈りと家



パンとスープの会2

族の協力です。子どもたちは教会から徒歩圏内に住んでいないので、車での送迎が必要なのです。教師は、家庭や祈祷会や毎月の教師会などでの祈りと働きかけを続けています。

子ども聖書日課も毎月印刷し小冊子にして、第一主日に今月の教会学校の案内の紙をはさんで配り、教会学校のメッセージの時に読み合わせたり各人が毎日読むように勧めています。表紙は子どもたちが描いたイラストが用いられたりします。日課は、教会の希望される兄姉にもお渡しして用いられています。子ども祝福式



三代そろった子ども祝福式 2020年11月

も、小学校卒業するまでの子どもたちに、教会の礼拝で牧師より神さまの祝福と守りのお祈りをしていただいています。教会学校の生徒ばかりでなく、教会員のお孫さんやそのご家族の方も出席され、恵みのひとときとなっています。

この3月末には、進級卒業のお祝いの会を開きました。

皆でたこ焼き・ホットケーキなど作って食べ、ゲームなどをしながらお祝いする会で、久しぶりに大人も子どもたちも楽しいひと時を過ごしました。ひとりひとりの子どもたちに注がれる神さまの思いをいただいて、ま



子ども聖書日課

される恵みに期待し、子どもたちも私たちも神様と共に歩む祝福の生涯を送れるよう、今できることで一歩一歩進んでいきたいと願われています。

(長尾明美)



進級卒業の祝（お祈りと新改訳2017聖書プレゼント）
2021年3月